

● 幼児期の教育から小学校教育へ 安心子育てリーフレット ●

## 小学1年生 安心子育てQ&A

### Q 登下校の安全が心配です。

A お子さんと一緒に通学路を何度も歩いて（交通事故等の）危険箇所を調べ、具体的な注意や対応について親子で確かめておくことが大切です。また、横断歩道の渡り方、防犯ブザーの使い方についても確認しておくとういでしょう。

学校では担任をはじめ全教職員が子ども達に登下校の安全指導をしています。また、地域のボランティアの方々が子ども達の登下校時にパトロールをしているところもあります。

保護者が学校に自分のメールアドレスを登録することにより、不審者情報や台風による下校時刻の変更等を受信できるシステムもあります。

### Q 文字や数字の読み書きは家で教えないといけませんか。

A 1学期の国語や算数で、「ひらがな」や「数字」の読み書きを学習します。自分の名前については、読んだり書いたりできているとういでしょう。

入学前は、ごっこ遊びの中で看板やメニューづくり等で、楽しみながら文字に親しみましょう。「読んでみたい」「書いてみたい」と、これから始まる学習に期待をもてるようにすることが大切です。

### Q ルールや約束を守る子になってほしいのですが、どうしたらよいでしょうか。

A ルールや約束は「いつまで」「どのくらい」等とお子さんにとって分かりやすいように相談して決めましょう。そして、決めた約束が守れたら、ほめましょう。

お子さんが守れないときには、お子さんの様子から守れない理由を察したり、お子さんの思いを受け止めたりしましょう。その上で、ルールや約束について家族で話し合い、調整していくことが大切です。

### Q 1日の生活が大きく変わります。どんなことに気を付けるとよいでしょうか。

A これまでとは1日の生活が大きく変わり、戸惑うお子さんもいます。そのため、小学校では、「スタートカリキュラム」を作成し、どのお子さんも安心して小学校生活を送ることができるように配慮しています。

ご家庭では、次のことを心がけましょう。

- ◆ あせらないで、お子さんの話をよく聞いて気持ちを知るよう努めましょう。
- ◆ 担任と連絡を取り、対応について相談しましょう。友人関係等で気になる時も気軽に相談しましょう。

### 子育てネッ!とやま

「子育てネッ!とやま」は子育てや家庭教育に関する情報を提供する県のホームページです。子どもと楽しむイベント情報、子育てQ&A、メール相談等、子ども達の心豊かで健やかな成長を願うご家族や多くの子育てに携わる方々の活動の役に立てるよう内容の充実  
に努めています。ぜひ、アクセスしてみてください。

<https://www.pref.toyama.jp/3009/kurashi/kyouiku/kosodate/hp/index.html>

つなげよう  
育ちと学び



© 富山県

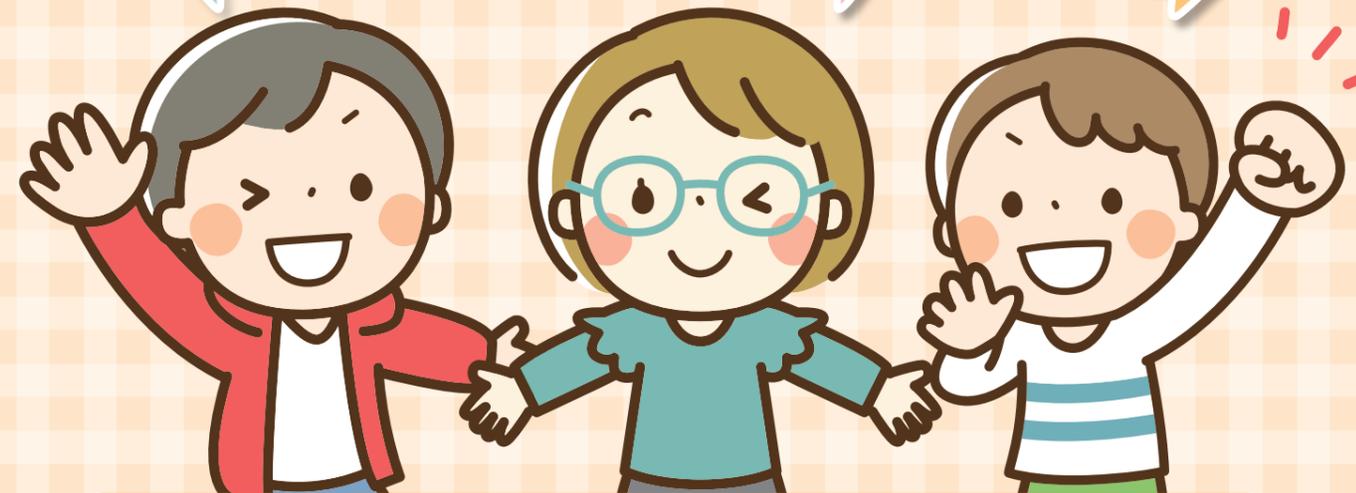
# きときと 1年生

歩いて  
登下校するよ。  
ドキドキ

どんな勉強かな?  
ワクワク

いろいろなことに  
チャレンジ  
したいな。

休み時間は  
友達と  
遊びたいな。



もうすぐ1年生。このリーフレットは、幼稚園や保育所、認定こども園での育ちや学びを大切にしながら、家庭で取り組んでいただく「きときと1年生」への道を提案するものです。保護者の皆さんが、安心してお子さんの成長を見守ることができるようにと願っています。

お子さんの健やかな成長のためには、学校と家庭が同じ姿勢で関わる大切です。  
心配なことがあれば、担任の先生に相談しましょう。

富山県教育委員会

令和7年9月

# 家庭で取り組む「きときと1年生」への道

## 生活習慣

「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけましょう。



規則正しい生活リズムは健やかな成長の基礎になります。

自分のやりたいことを自分で決める習慣を育みましょう。



自己肯定感が高まります。

ものの置き場所や片付け方を決めましょう。



ものの置き場所を考えながら片付けることで、思考力や判断力が育ちます。

## 人とのかかわり

お子さんの話は、目を見て聞きましょう。



安定した気持ちで人と接することができるようになります。

あいさつや言葉遣いを大切にしましょう。



大人が手本を示すことでコミュニケーションの力が育ちます。

ルールやきまりを守るように励ましましょう。



経験を積み重ねることで、規範意識が育ちます。

## 学びに向かう力

よいところをたくさん見つけ、ほめてあげましょう。



お子さんのやる気や自信につながります。

時間がかかっても最後までやりとげるように見守りましょう。



難しいことでもあきらめずに挑戦する気持ちが高まります。

お子さんの「どうして?」「やりたい!」の気持ちを大事にしましょう。



お子さんと一緒に考えたり調べたりすることで好奇心の芽が育ちます。

家庭での取組の三つの柱、「生活習慣」「人とのかかわり」「学びに向かう力」を大切にしてお子さんに関わることで、大人になってからの生活に大きく影響するといわれる非認知能力（粘り強く頑張る力や周りの人と協力する力、自分の気持ちを調整する力等）を身に付けることができます。

## お子さんと一緒にたしかめましょう

あとかたづけ片付けをしていますか?



はじめはお子さんと一緒に後片付けをし、できたことをほめましょう。

外から帰ったら、うがい、手洗いをしていますか?



お子さんの目に付くところに「うがい、手洗いをしたかな」というメッセージカードを貼っておきましょう。

一人で服を着たり脱いだりしていますか?



お子さんが一人で着たり脱いだりできる服を選んであげましょう。

顔マークに色を塗ってみよう



元氣とやまマスコット きときと君 © 富山県

一人で悩まないで、ちょっとしたことでも、先生や家族・友達に相談していました。(先輩の保護者より)

自分から友達や家族に「おはよう」や「ありがとう」が言えますか?



家族みんなが家庭で「おはよう」や「ありがとう」を言いましょう。

きまりを守って遊んでいますか?



いろいろなきまりをお子さんと話し合って確認し、きまりを守る大切さを意識させましょう。

自分の気持ちを伝えることができますか?



友達に言いにくそうな場合は、お子さんと一緒に言ってあげましょう。

先生や家族の話最後まで聞いていますか?



まず、家族がお子さんの話を最後まで聞いてあげましょう。

好きな遊びはありますか?



お子さんの興味を大切に、一緒に楽しみましょう。

絵本をよく読んでいますか?



お子さんの手の届くところに絵本を置き、読み聞かせをしてあげましょう。

わずかな時間でも、子どもと触れ合う時間を大切にしています。(先輩の保護者より)

